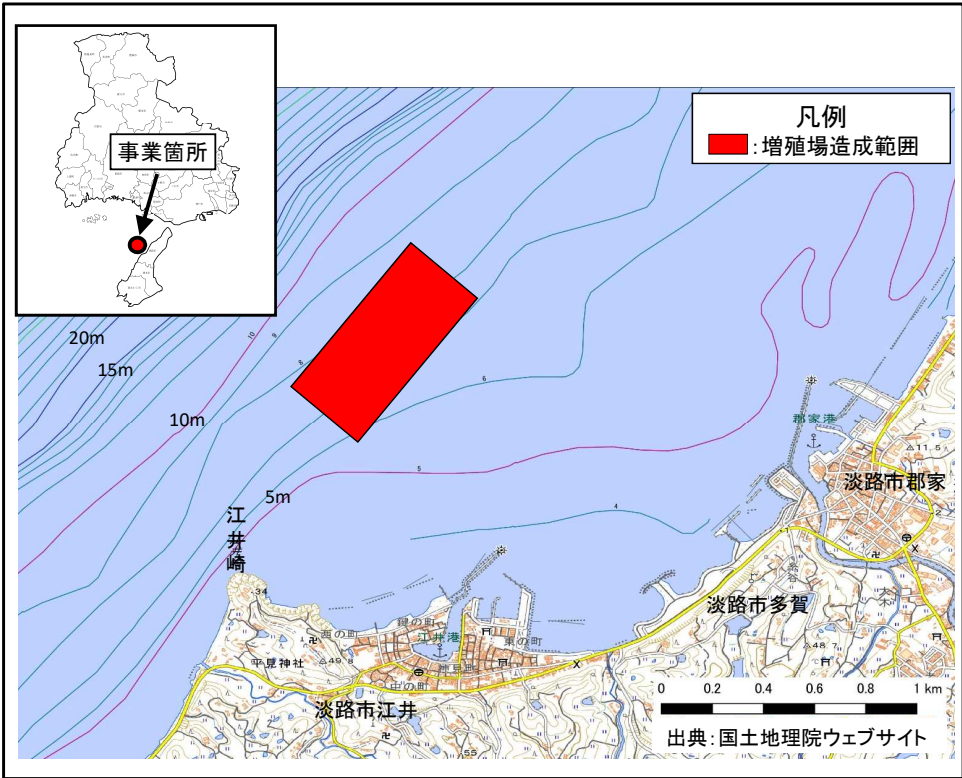


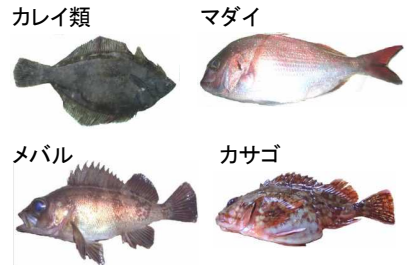
増殖場造成事業 播磨灘地区一宮漁場

位置図



事業概要

- ①事業概要：増殖場造成 約21ha
(自然石、小型コンクリート構造物)
- ②所在地：淡路市江井地先
- ③事業期間：R4～R6
- ④総事業費：2.1億円
- ⑤事業効果：対象魚種の資源増大
による生産量の増大
- ⑥費用便益比B/C：1.21
- ⑦対象魚種：カレイ類、マダイ
メバル、カサゴ等



工程	R4	R5	R6
増殖場造成			

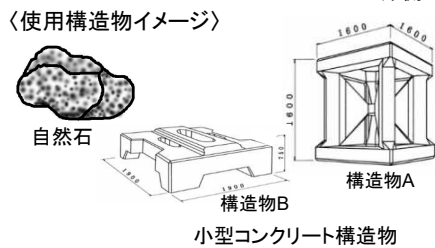
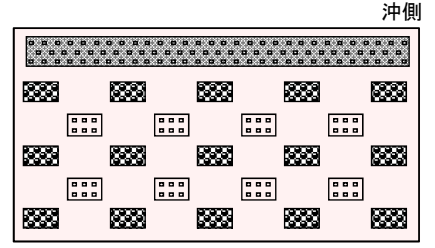
事業の必要性

- ① 当地区の前浜は磯や藻場が広範囲に広がる漁場であったが、浅海域の開発や栄養塩濃度の低下により良好な磯や藻場が減少し、海の生産力が低下している。
- ② 本事業では、水産物の育成にとって非常に重要な浅場の環境を藻場や磯を創出することで改善し、幼稚魚の生残率の向上、育成の促進を図ることにより、水産資源と漁業生産を維持・増大させることを目的としている。
- ③ 豊かな海の再生と、漁業収入の向上による浜の活力向上に向け当該事業が必要である。

	現況	計画
漁獲量	1,022トン	1,039トン
漁獲金額	580百万円	594百万円

造成手法

- ① 水深10m未満の浅場に造成(藻場や浅場の磯)
- ② 投石(自然石)と小型コンクリート構造物を組み合わせて変化に富む磯を造成
- ③ 広く磯を点在させて、カレイ類をはじめとする岩礁性魚類の増殖を図る



期待される効果

① 水産物の産卵場や育成場となっている岩礁域や藻場の造成



② 幼稚魚、未成魚の保護・育成による資源の維持・増大

